

令和6年9月9日～9月15日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和6年度第20報)

環境省大臣官房環境保健部企画課 熱中症対策室

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について(注1)

9月9日～9月15日の全国11都市(注2)の平均値を過去5年間(2019～2023年)の平均値と比較すると、常に高く、9月12日は4程度、10日、11日、13日、14日は3程度高くなりました。

総務省消防庁の発表によると、全国11都道府県(注2)における熱中症による救急搬送人員(注3)の合計は、1,525人でした(図1)。

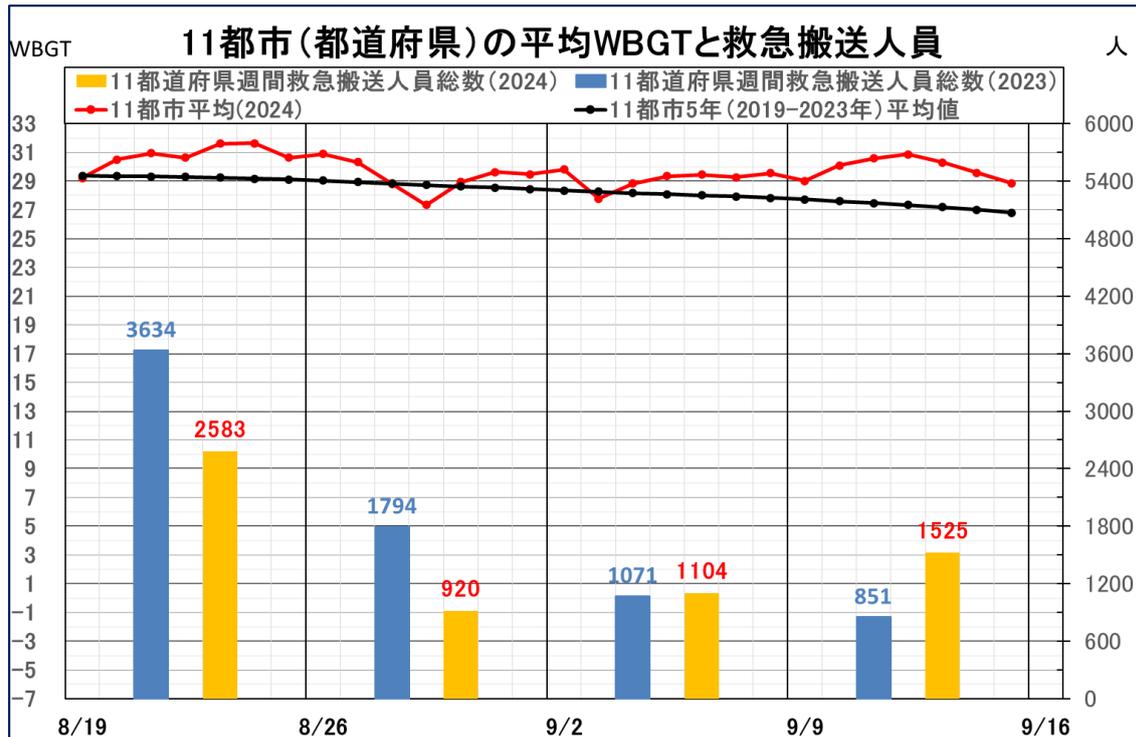


図1 全国11都市の平均日最高暑さ指数(WBGT)状況と救急搬送人員(全国11都道府県)の動向

表1は、今期間における全国11都市の日最高暑さ指数(実況値)を示しています。札幌を除く各都市で「危険」を示す31以上となる日がありました。特に東京、高知、福岡、鹿児島では33となる日がありました。

表1 全国11都市の日最高暑さ指数(WBGT)(9月9日～9月15日)

日	札幌	仙台	東京	新潟	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
9	22	27	30	28	32	30	30	30	31	31	27
10	25	29	32	31	30	31	30	32	33	29	30
11	23	31	33	31	32	31	30	32	33	32	28
12	24	30	32	31	32	32	30	33	33	32	31
13	24	30	33	30	31	31	30	31	33	31	29
14	20	24	32	31	32	32	30	32	32	32	31
15	18	26	32	27	30	30	31	29	33	33	30

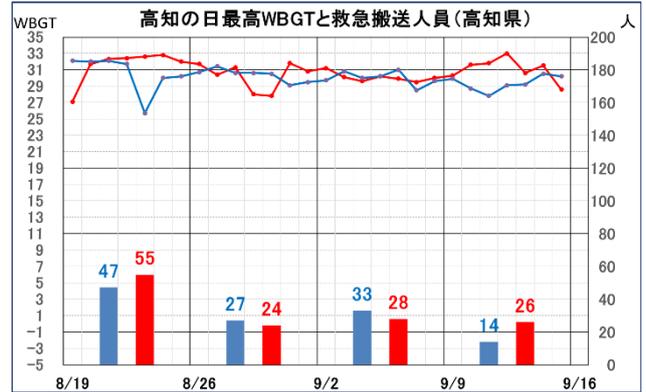
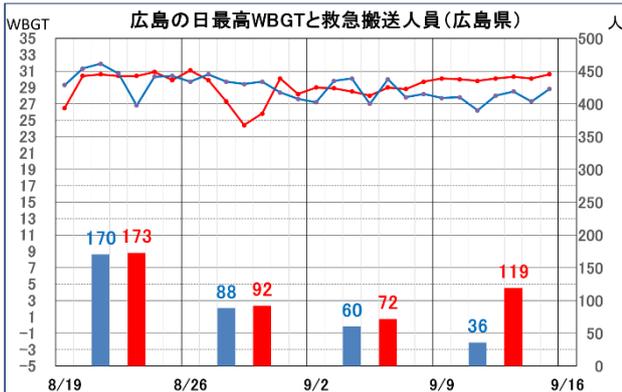
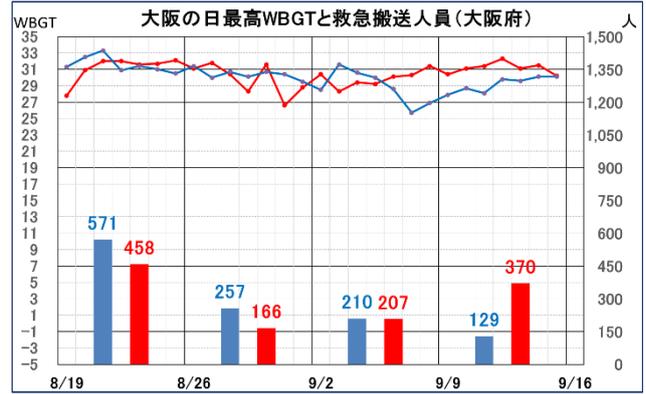
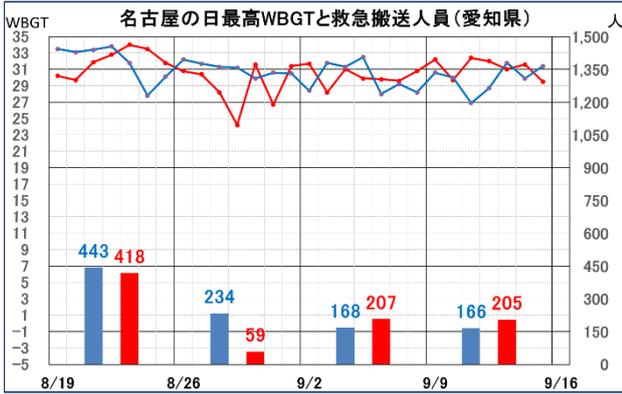
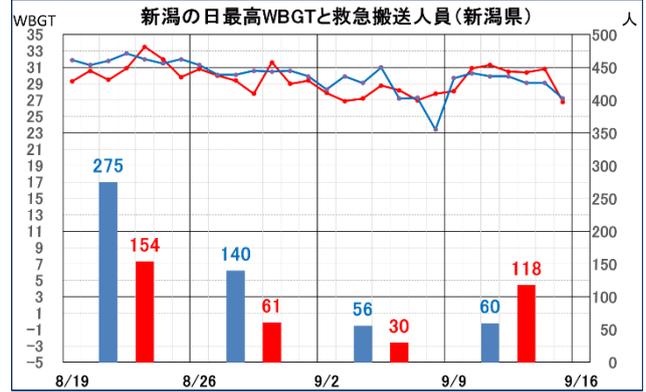
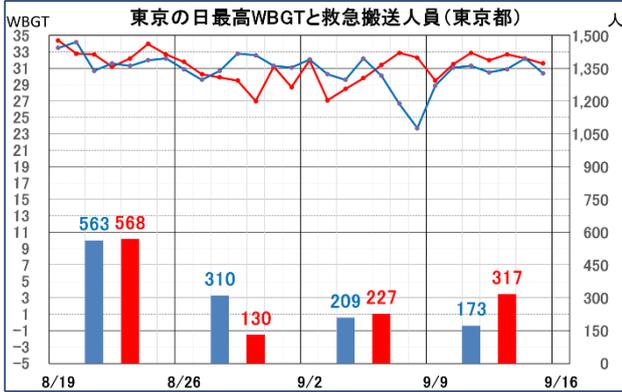
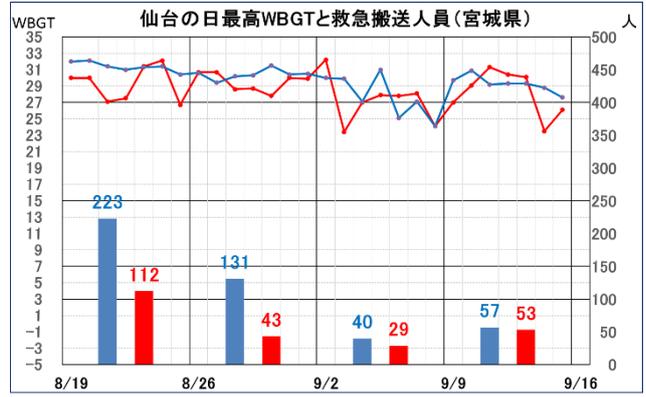
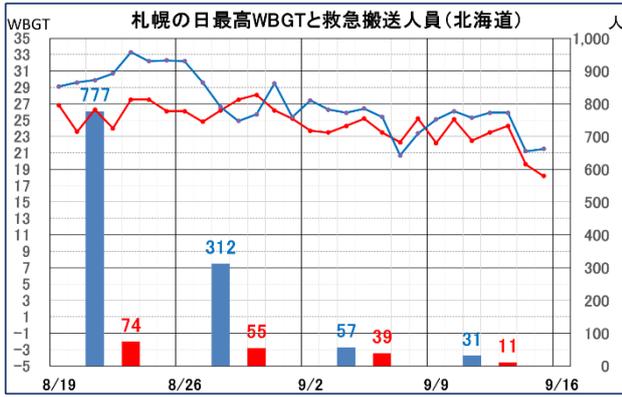
注1 本資料の暑さ指数(WBGT値)は速報値です。確定値とは異なる場合があります。

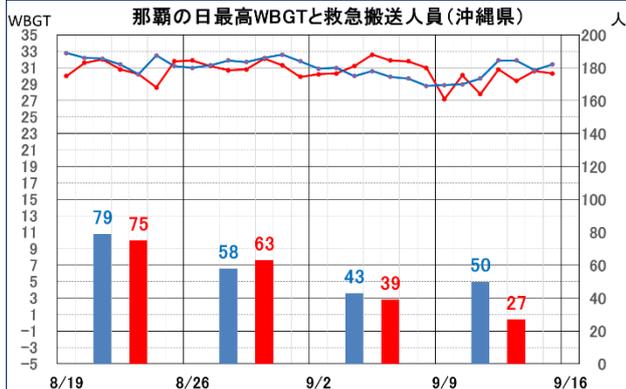
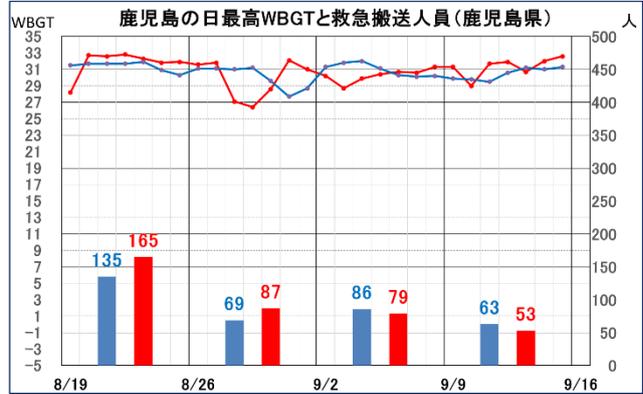
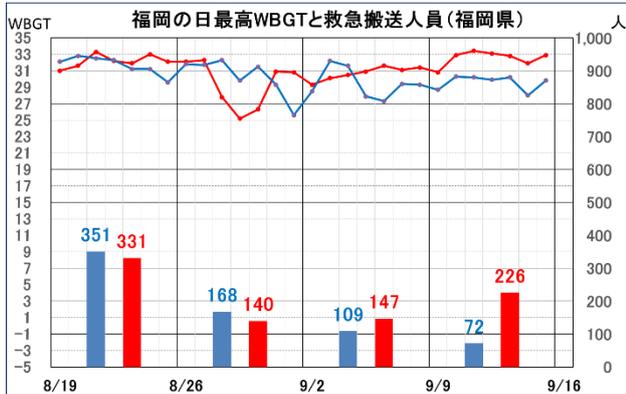
注2 本資料における全国11都道府県・全国11都市:

北海道・札幌市、宮城県・仙台市、東京都・文京区、新潟県・新潟市、愛知県・名古屋市、大阪府・大阪市、広島県・広島市、高知県・高知市、福岡県・福岡市、鹿児島県・鹿児島市、沖縄県・那覇市

注3 総務省消防庁の発表資料を元に環境省で作成：<https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/post3.html>

2. 全国 11 都市の日最高暑さ指数 (WBGT) と熱中症による救急搬送人員の状況





凡例

- 全国11都市の日最高WBGT(折れ線)
青線:2023年データ
赤線:2024年データ
- 全国11都道府県の週間救急搬送人員(縦棒)
青棒:2023年データ
赤棒:2024年データ

3. 全国の熱中症警戒アラート等の発表状況

直近4週間(8月19日~9月15日)の、全国(58の府県予報区等)における熱中症警戒アラートの延べ発表回数は以下のとおりです(表2)。なお、この期間において、熱中症特別警戒アラートの発表はありませんでした。

表2 全国の熱中症警戒アラートの発表状況(8月19日~9月15日)

	8/19~8/25	8/26~9/1	9/2~9/8	9/9~9/15
全国	178	71	38	101
(参考) 昨年	163 (2023/8/21~8/27)	84 (2023/8/29~9/3)	24 (2023/9/4~9/10)	17 (2023/9/11~9/17)

4. 今後の見通し

気象庁の2週間気温予報の概要は以下となっています。(注4)

(9月18日発表、予報期間9月19日~10月2日)

北海道地方	20日頃までは暖かい空気に覆われやすいため高い所が多く、かなり高い所もある。その後、24日頃までは平年並か低い、25日頃からは再び暖かい空気に覆われやすくなるため高くなり、かなり高い日が多い。
東北地方、東・西日本、沖縄・奄美	向こう2週間の気温は、暖かい空気に覆われやすいため、かなり高い日が多い。

(参照: 2週間気温予報 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/twoweek/?fuk=1>)

注4 予想された気温を、平年と比較して5段階(かなり高い、高い、平年並、低い、かなり低い)で示します。